

## 令和2年度第1回健康づくり推進協議会ご意見

R2.8.27開催予定→書面開催

### 1 集計結果

#### 会長・副会長選出

自薦	0件
他薦	0件
事務局一任	18件

#### 議事

(1)健康まえばし21について	
意見・質問なし	15件
意見・質問あり	3件
(2)令和元年度実績と取組報告	
意見・質問なし	12件
意見・質問あり	6件
(3)令和3年度健康まえばし21ちらしについて	
意見・質問なし	11件
意見・質問あり	7件
(4)地域・職域連携推進について	
意見・質問なし	10件
意見・質問あり	8件
(5)その他	
意見・質問なし	16件
意見・質問あり	2件

## 2 意見と対応

### 会長副会長選出

No.	発言者	ご意見	対応
1	全員	事務局一任	事務局案として会長を前橋市医師会推薦の家崎桂吾委員、副会長を群馬県立県民健康科学大学推薦の塩ノ谷朱美委員を提案させていただき、御両名からご承諾いただきました。よって、事務局案の通り決定いたします。

### 議事(1)健康まえばし21について

No.	発言者	ご意見	対応
1	高木委員	健康経営をどの職場でも対応してもらえるとよい。 健康寿命の延伸のために週1回地域のピンションやサロンに参加できる環境が必要。 こころの健康づくりとして、ストレスをどのように乗り切るか、また周囲の思いやり、介護家族の負担が増加しない環境が重要。	(健康増進課)従業員とその家族の健康づくりに積極的に取り組む企業の登録制度である「まえばしウエルネス企業」の登録企業増加を目指し、セミナーの開催等検討します。 (長寿包括ケア課)高齢者が身近な地域で介護予防に取り組むことのできるピンション体操クラブ等の立ち上げ支援や地域で介護予防活動を実践するボランティアである介護予防サポーターの育成を継続していきます。
2	高野委員	20歳代女性のやせが気になる。栄養士として食生活についての啓発が必要と思う。	(健康増進課)18歳から39歳を対象としたスマイル健診にて、全員に朝食摂取についてのちらしを配付しています。大学等とも連携し、適正体重の維持を啓発したいと思います。
3	蒔田委員	今年度より「地域・職域連携推進協議会」が合同設置とあるが、協会けんぽ群馬支部は毎年度、貴市と健康づくり事業にかかる連携会議を行っており、当支部としても加入者の健康増進のため、連携をさらに強化し、特に重点課題である「糖尿病対策」「や「企業連携による環境づくり」に積極的に取り組んでいきたい。 また、地区三師会(医師会・歯科医師会・薬剤師会)とも密接な関係を構築し、より効果的な事業を展開していくことが必要と考える。	(健康増進課)今回の協議会資料として、職域分野の方にもご利用いただける事業の洗い出しを行いました。今後、相互活用について連携・協力をお願いいたします。

### 議事(2)令和元年度実績と取組報告

No.	発言者	ご意見	対応
1	北爪委員	新規事業において、動画講座があったが、これからの時代、今まで通りの事業開催が難しくなっており、とても良い取組だと思う。歯科分野も対面の事業が難しいので工夫して考えたい。	(健康増進課)動画やオンライン講座など、新たな分野ですが、少しずつ取り入れ始めています。今後も情報共有しながら発展させていきたいと思っています。
2	高木委員	独居高齢者の支援として、バランスの取れた食生活が継続できるよう親族及び介護施設等のかかわりが重要。	(長寿包括ケア課)今後さらに地域包括支援センターやケアマネジャーへの周知と連携を図り、訪問支援を行っていきたくと考えます。

3	高野委員	青年期・壮年期の指標が悪化している項目が多い。学校や職場との連携が必要。高齢期の低栄養と肥満の二極化の問題がある。	(健康増進課)健康まえばし21ちらしを小1・中1の保護者へ全員配付、まえばしウエルネス企業向けにメール配信しました。 (長寿包括ケア課)前期高齢者へは生活習慣病予防と低栄養予防を、後期高齢者へは低栄養予防に重きを置いて助言しています。低栄養については、配食サービス導入を契機に管理栄養士の個別指導を実施しており、今後も個々の課題に応じた支援を継続してまいります。
4	西田委員	中間評価とR1の比較から「改善」項目が多く、成果が表れている。ありがとうございます。青年期・壮年期はなかなか健康への関心が高まらないという課題があることが分かった。	(健康増進課)課題だけでなく改善項目も含めた情報共有により、地域の健康づくりの機運を高めるとともに、青年期・壮年期については、大学や企業等との連携により働きかけのきっかけを作ってまいります。
5	福島委員	3歳児、12歳児におけるむし歯の減少傾向は喜ばしいが、40・50・60歳で進行した歯周病を有する者の割合が増加しており、今後の課題と思われる。	(健康増進課)母子保健の取組の成果が数値に表れてきているため、引き続き丁寧な保健指導に努めます。また、壮年期の歯周病については、早期発見が第一と考え、成人歯科健康診査の受診率向上を目指します。具体的には、今年度も40歳への再受診勧奨はがきの送付を予定しています。
6	蒔田委員	HbA1c5.6%以上の者の割合は中間評価より改善しているが、一方、青年期・壮年期については、血糖コントロール不良者の割合を始めとして、全体的に悪化傾向である。貴市においては、糖尿病性腎症重症化予防事業等、多数の事業を強化されているが、青年期・壮年期への健康増進事業について、最重要施策の一つとして実施することが望ましい。	(健康増進課)HbA1c5.6%以上の者の割合の改善については、様々な要因はあると思われませんが、有所見者が多い地区に重点的な働きかけを行ったこと、市全体として県や全国と比較し有所見者が多いことを周知したことが改善に寄与していると考えます。今後も糖尿病対策については重点課題として、地域住民との課題の共有や各種事業によるハイリスクアプローチを継続します。

### 議事(3)令和3年度健康まえばし21ちらしについて

No.	発言者	ご意見	対応
1	北爪委員	来年度の感染状況が不明だが、今まで通り順番で取組を掲載するだけでよいか、少々疑問がある。全体的に情報量が多く、ポイントがよくわからない(セルフチェックはしにくい、必要ないか)。	(健康増進課)レイアウトについては、庁内推進会議ワーキング会議を経て決定しているため、事務局案通りとさせていただきます。情報量については、ご指摘の通りと思われ、裏面に各年代のセルフケアについて二次元コードを掲載していますので、セルフチェックを削除します。
2	塩ノ谷委員	DMFT指数の注釈において「むし歯の経験本数」とあるが、むし歯は不可逆的なものなので「経験」は不要ではないか。 P<0.05の表記は一般向けのちらしとしてどうか。統計学的有意差があることがこれだけでは分からない人もいる。そこを強調したいなら説明が必要。	(健康増進課)DMFT指数とは、むし歯だけでなく、むし歯により治療した歯・抜歯した歯も含みます。そのため、「経験本数」としており、学校保健でも使用している表現です。 「P<0.05」の表記が無くても意図が伝わると思われるため、削除します。
3	高木委員	歯科医院にて年2回のメンテナンスを受けられるように、通院介助及び若い世代も受ける心構えを持ってほしい。	(健康増進課)市内大学や専門学校等に対し、ポスター掲示や一部メール配信等を活用し、成人歯科健康診査の受診勧奨及び半年に一回の定期受診について周知を行っています。加えて、次年度は全世代に健康まえばし21ちらしを配布し、定期的な歯科受診の必要性を周知します。

4	高野委員	全体的に字が小さい。高齢者は読みにくい。	(健康増進課)情報を整理し、本校正ではできない限り文字を大きくできるよう調整します。
5	西田委員	とても分かりやすい。	(健康増進課)ありがとうございます。今後もわかり易い資料作りに努めます。
6	福島委員	二次元コードを多用してセルフケアについて詳しく情報を発信していて、工夫されたらしになっている。	(健康増進課)限られた紙面で十分に伝わりにくい点については、今後も二次元コードを活用していきたいと考えております。
7	蒔田委員	内容的に優れているが、字が細かい部分があり、見やすさ、読みやすさを考慮し、広報内容を絞ってもよいのではないかと。	(健康増進課)情報を整理し、本校正ではできない限り文字を大きくできるよう調整します。

#### 議事(4)地域・職域連携推進について

No.	発言者	ご意見	対応
1	北爪委員	資料4-1:糖尿病予防・重症化予防については、歯周病とも深い関係があると言われているので、歯科衛生士としても歯周病と絡めて市民にアピールしていきたい。 資料4-2:今までも健康フェスタに協力していたため、今後も開催があれば協力させていただきたい。	(健康増進課)歯周病と全身疾患との関連については、徐々に認識が高まっていますが、具体的な行動変容に繋げるには十分とは言えない状況です。引き続き関係団体の皆様にご協力をいただき、周知に努めたいと思います。
2	塩ノ谷委員	平日昼間の事業は仕事をしていると使えない。出向いて行うものはよいが、企業側が平日の昼間に来られるような仕組みをつくれるように支援するなど、何か工夫が必要である。	(健康増進課)昨年度ウエルネス企業を対象とした調査においては、健康経営の認知が実践に影響を与えることが分かっています。まずは、健康経営の理解を広めることが重要であるため、次年度以降となりますが、経営者等を対象としたセミナーの開催を予定しています。また、まえばしウエルネス企業登録時に、健康増進事業を紹介するとともに、健康経営の取組として事業の利用促進を提案することで、企業の健康課題解決に向けた支援を充実させます。
3	高木委員	民生委員をしているが、保健予防課が実施する出前講座を自治会長と相談し、時期を見て開催したい。	(健康増進課)市役所各部門が、企業に限らず一般向けにも出前講座を実施していますので、用途により、ぜひご活用ください。
4	高野委員	パンフレットや資料を配布し、健診を受けることを働きかけ、合併症の説明をし、予防の重要性を促していく。	(国民健康保険課・健康増進課)特定健診とがん検診のセット受診について、協会けんぽ被扶養者向けのパンフレットの作成に協力しています。また、糖尿病重症化予防事業等、各種保健事業を相互活用できるよう、職域への情報提供を進めます。
5	西田委員	職場でも気軽に行える体操等が例示されると取り組みやすいのではないかと(今までもあったかもしれないが)	(健康増進課)すでに市フェイスブックにおいて月1回「ながら運動」を配信していますが、より広く市民の皆様に見ていただけるよう今後は市ホームページにも掲載します。また、まえばしウエルネス企業に対し、定期配信しているメールマガジン「ウエルネス通信」においても紹介します。

6	福島委員	地域保健と職域保健の更なる広域的な連携により、働き盛り世代の健康増進に寄与できるよう努めて参りたい。	(健康増進課) 地域・職域連携推進ガイドラインにおいては、協議会構成機関の役割の1つとして、協議会からの情報を会員に提供して頂くことが挙げられています。今回の資料について、ぜひ貴所属団体において可能な限り共有して頂ければ幸いです。また、地域・職域連携推進事業へのご協力をお願いいたします。
7	蒔田委員	協会けんぽ群馬支部では、事業所とコラボした健康づくり事業(生き生き健康事業所宣言)を実施しているが、貴市における同様の取組である「まえばしウエルネス企業」と連携した企業単位での要治療者に対する受診勧奨及び糖尿病重症化予防対策事業を推進することにより、より効果的な事業展開が期待できると考える。	(健康増進課) 生き生き健康事業所宣言と本市のまえばしウエルネス企業は相互認定を行っており、それぞれの登録数が増加しているところ。相互認定の相乗効果を高められるよう、今後も連携・協力をお願いいたします。
8	森委員	有所見者が7割を超える業種については、健康教育よりも先に、働き方の改善が必要と思われる。重症化予防については、病気について学ぶため常に情報提供することが必要と考える。また、教育や広報は若い世代にこそ重点を置くことが有効と考える。	(健康増進課) まえばしウエルネス企業登録を推進し、健康経営に取り組む企業の増加を目指します。青年期に対しては、大学等との連携により講話やポスター掲示、メール配信等を行っていますが、今後も継続してまいります。

#### 議事(5)その他

No.	発言者	ご意見	対応
1	大森委員	新型コロナウイルス感染症流行の長期化が懸念される中、すべての事業が中止になっているが、令和3年以降のイベントや事業は、3密を避け、地区に分散して開催に可能な限り変更する。 自然災害と背中合わせで生活しているが、他県では「子ども食堂」がボランティアとして定着しており、バスを利用し地域を巡回し貢献しているとのニュースがあった。地域(身近な所)での活動支援が不可欠。	(健康増進課) 新型コロナウイルス感染症の流行が長引く中で、「新しい生活様式」を踏まえ、実施可能な事業や地域活動を模索してまいります。現状としては、定員を減らして健康教室を開催したり、個別対応に切り替えるなど、出来ることから取り組んでいるところ。今後も、地域活動が途絶えないよう、地区組織とも連携し取り組んでまいります。
2	塩ノ谷委員	県全体で非肥満高血糖者が多いことが課題になっている。市のデータを見てみたい。	(健康増進課) KDB(国保データベース)システムにおいて、市・県・全国のデータを抽出できるため、次回協議会において、参考資料として提示したいと思います。